

奈良市の姉妹都市「福島県郡山市」について

昭和46年、奈良市と郡山市は、それぞれに「采女伝説」が伝わっているご縁により、姉妹都市提携を結び50年以上になります。郡山市では、毎年8月上旬に「郡山うねめまつり」が開催され、市内の駅前大通りでは大勢の浴衣姿の市民らで賑わう「うねめ踊り流し」が繰り広げられるなど盛大に行われています。



2022年「郡山うねめまつり」の様子(提供:郡山市)

福島県郡山市の「采女伝説」

奈良時代に陸奥の国安積の里(現郡山市)では冷害が続き朝廷への貢物ができず、奈良からの巡察使・葛城王が訪れた際、里長の娘、春姫を采女として献上することを条件に、貢物を3年間免除し、春姫を都に連れて帰りました。しかし、春姫には相思相愛の許婚がおり、恋しくなった春姫は、中秋の名月の日に、猿沢池に身を投げたと見せかけて故郷へと向いましたが、許婚はすでに山の井清水に身を投げており、春姫もその後を追ったといわれています。

采女伝説・郡山
うねめまつり



特別ギャラリー展「中秋の名月・采女祭」開催!

毎年、中秋の名月に行われる「采女祭」で使用する衣装や祭事品、行事の写真パネルを通じて、お祭りの魅力をご紹介します。また、奈良市と姉妹都市である福島県郡山市の伝統工芸品「海老根手漉和紙」に絵付けした和紙灯ろうなどもご覧いただけます。

- 開催期間 2022年9月6日(火)~11日(日)
- 時間 毎日 10:00~17:00
- 場所 ギャラリー天平ならまち



※会場には駐輪場・駐車場はございません。

中秋の名月

お月見スイーツ×采女祭

開催期間

2022年9月5日(月)~9月10日(土)

お月見スイーツも
楽しもう!



采女祭
オリジナル絵馬が
もらえるよ!

采女祭特別企画に参加しよう!

その①

参加スイーツ店で、開催期間中(9/5~10)に企画対象の商品(お月見スイーツ)を含めて、1,000円(税込)以上ご購入いただくと、店舗にて妖怪書家「逢香(おうか)」さんデザインの采女祭オリジナル絵馬がもらえます。【先着500枚限定】

その②

絵馬に願い事を書いて、採女神社へ奉納ができます。または、記念にお持ち帰りください。

*採女神社には、絵馬に願い事を書いていただくための利用スペースは設けておりませんので、各自事前にご記入の上、ご奉納ください。

【注意点】

- 各店舗によって、販売期間が異なります。
- 1店舗で1,000円(税込)以上ご購入いただいた場合となります。他店との合算はできません。
- 1店舗で2,000円以上ご購入いただいた場合でも、絵馬は1枚のお渡しとなります。



採女祭オリジナル絵馬
デザイン:妖怪書家 逢香(おうか)

中秋の名月「采女祭(うねめまつり)」行事ってなあに？

日本百名月

2020年に、「采女神社・猿沢池にのぼる月／采女祭」として、猿沢池と采女神社の2つの鑑賞地、さらに采女祭が総じて「日本百名月」に認定されました。

采女伝説

『大和物語』によると、「奈良時代に帝に仕えていた采女が帝のご寵愛が衰えたのを嘆き、猿沢池の畔の柳の木に衣を掛けて池に身を投げてしまった。それを哀れに思われた帝が、その霊を慰めるために社をお建てになりましたが、わが身を投じた池を見るにしのびないと、一夜のうちに社を後ろ向きにした」と伝えられています。



kidsに
オススメ!
采女伝説紙芝居
動画

采女神社の不思議

お社が後ろ向きに！？池に身を投げた采女は、自分が身を投げた池を見るのは辛く、一夜のうちに社をぐるりと後ろ向きに。
でも…今は、縁結びの神様。悲恋の伝説が残されていますが、後に、采女は、人々には自分と同じ悲しい思いをしてほしくないと、縁結びの神様に♡

「采女(うねめ)」とは、奈良時代に宮中で帝(天皇)のお世話をしていた女性です。



写真提供:春日大社

猿沢池の七不思議

「澄まず濁らず出ず入らず蛙はわかず藻は生えず魚が七分に水三分」
「猿沢池の水は、決して澄むことなく、また濁ることもない。常に一定の水量を保っていて、なぜか蛙はいないし、藻も生えない。毎年多くの魚が放たれるのに溢れる様子がない池。」と昔から伝えられています。

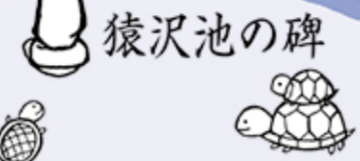
龍神伝説

猿沢池には大昔、龍神さまが住んでおりました。しかし、采女が、猿沢池に身を投げてしまい、池がけがれてしまったため、龍は春日山の龍王池に移り、さらに最後は奈良県宇陀市の室生の龍穴へ移ったといわれています。

こんな伝説もあるよ!



NARA CITY
コンシェルジュ
采女伝説ツアー
動画



「猿沢池の月」は、奈良の美しい景色・南都八景のひとつです!

ここから望む
興福寺五重塔は、
絶景だよ!



写真スポット!

NARA CITY
コンシェルジュと
一緒に猿沢池周辺を
散策♪

采女祭

采女祭は、毎年中秋の名月に行われる春日大社末社・采女神社の例祭で、采女の霊を慰め、同時に人々の幸せを祈ります。

午後5時からの花扇奉納行列では、秋の七草で美しく飾られた2m余りの花扇を載せた車を中心に、十二単姿の花扇使や天平衣装をまとった人々総勢約200名が市内を練り歩きます。

午後6時から采女神社において、春日大社神職による厳かな神事が行われ、午後7時に南都楽所の奏する雅楽が流れる中、2隻の管絃船が猿沢池を巡り、最後には花扇を池中に投じる雅やかな行事です。

2022年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、行列や管絃船の儀は中止となり、采女神社での神事のみを斎行します。(一般拝観不可)

- 宵宮祭……………9月 9日(金)
- 例祭(花扇奉納神事)……………9月10日(土)

采女祭動画



興福寺では、毎年4月に猿沢池に魚を放して供養する「放生会」が行われます。



采女はここにあった柳に衣をかけて池に身を投げたといわれています。



管絃船の儀



花扇奉納行列

お月見にオススメ！ スイーツ店

江戸時代より、月が一番きれいに見られる十五夜(中秋の名月)には、お団子やススキなどを供え、穀物の収穫に感謝をささげたといわれています。今年の中秋の名月は、9月10日。美しい月を眺めながら、おいしいお菓子とともに月見をしてみたいはいかがですか？

※掲載内容は2022年8月現在のものです。
※表示価格はすべて税込価格・テイクアウト価格です。
※新型コロナウイルスの影響により、営業時間・定休日等が記載と異なる場合があります。事前に店舗へご確認ください。

1 寛永堂 奈良本店 2 寛永堂 JR奈良店

寛永7年(1630)創業の、丹波で自家焙煎した黒豆を使った菓子などが人気の和菓子店です。お月見だんごの舌触りの良い餡は、月にかかる叢雲をかたどっており、秋の風情を楽しめます。

- お月見だんご 1個 230円
- 販売期間: 9/8(木)~9/10(土)



【奈良本店】
奈良市東向中町4
☎ 0742-25-5282
営 9:00~20:00 休 年中無休

【JR奈良店】
奈良市三条本町1-1(ピエラ奈良2階)
☎ 0742-20-1623
営 9:00~20:00 休 年中無休



奈良本店

JR奈良店

3 鹿野

奈良県産の食材にこだわり、丁寧に焼き上げた鹿野自慢のバームクーヘンと一緒に、大和茶クリームと栗餡を求肥で包んだクリーム大福をぜひご賞味ください。



- 月見大福 1個 410円
- 販売期間: 9/5(月)~9/10(土)

奈良市油阪地方町5 マツヤマビル1F
☎ 0742-24-0090 営 10:00~20:00 休 年中無休

4 たまうさぎ (近鉄奈良駅構内)

地元で愛される奈良のきなこ団子の名店。奈良県産「ヒノヒカリ」の米を挽くことから始まり、丁寧につき、秘伝の蜜をかためて、でき立てのきな粉をまぶして、1本ずつ手作りしています。お月見のお供にぜひ。



- きなこだんご 1本 85円~1箱(10本入) 850円
- 販売期間: 通年

奈良市東向中町29 近鉄奈良駅B1F
☎ 0742-41-6610(本店)
営 10:00~18:00(売り切れ次第終了) 休 月・火曜日

10 鶴屋徳満 三条通店

猿沢池近くの三条通店鶴屋徳満自慢のこし餡で団子をまいた月見だんごと香ばしいきな粉をまぶしたわらび餅をご用意しました。2つの味わいを楽しみながらご賞味ください。



- 月見だんご&わらび餅 1箱 756円
- 販売期間: 9/5(月)~9/10(土)

奈良市角振新屋町4
☎ 0742-27-0353 営 9:00~18:00 休 木曜日

11 萬々堂通則

江戸後期に創業の老舗。月見だんごは、黒こし餡をまいた団子、小芋の形、抹茶味・餡味・白玉の三色団子の3種を用意。その他、お月見にちなんだススキの印を押した上用饅頭、練切の小芋なども人気です。



- 月見だんご 1個 220円
- 販売期間: 月見団子 9/9(金)~9/10(土)

奈良市橋本町34
☎ 0742-22-2044 営 10:00~18:00 休 木曜日

5 御菓子司 萬勝堂

明治23年(1890)創業、馴染みのある昔ながらの月見団子で、歯切れのよい団子をあっさりとし、焼き上げた「こし餡」で包んでいます。十五夜の1日限定で販売される特別な一品です。



- お月見団子 1個170円~ 1箱(5個入) 850円
- 販売期間: 9/10(土)のみ

奈良市東向中町24-1 ☎ 0742-22-2502
営 10:00~17:00(土・日曜日、祝日は~18:00)
休 年中無休

7 ふうのおはぎ

おはぎの概念を破り、食材は必要以上に手を加えず素材の味を活かすことを意識しておはぎ作りをしています。可愛いうさぎのおはぎはさつまいも餡です。



- 月うさぎ 1個 300円
- 販売期間: 9/5(月)~9/10(土)

奈良市小西町1-7 ☎ なし
営 10:00~18:00(売り切れ次第終了)
休 火・水曜日

9 大仏いちご



“奈良の美味しい果物を多くの人に”そんな思いを込めて三条通で、イチゴ大福と果物の販売店を営んでいます。奈良で収穫された、新鮮で美味しい果物を厳選して、農家さんから直送で仕入れています。 ※6月~10月まで国産夏イチゴ使用



- 月見大福 1個 300円
- 販売期間: 9/5(月)~9/10(土)

奈良市上三条町4-1 ☎ 0742-42-1284 営 11:00~18:00 休 不定休

12 御菓子処 優月

材料を吟味し素材を生かした昔ながらの製法で、新鮮・手作りをこだわりとした、創業16年目を迎える和菓子店。団子をあっさりとしたこし餡で包み里芋の形に仕上げられた月見だんごです。

- 月見だんご 1個 160円
- 販売期間: 9/6(火)~9/10(土)



奈良市餅飯殿町37-1
☎ 0742-23-2945 営 9:30~18:00 休 不定休

13 絵図屋

奈良の良いものを揃えた土産店。色とりどりのサクサク「おいり」と、かわいいうさぎクッキーをトッピングした「お月見おいりアイス」。アイスの味は10種類から選べます。



- お月見おいりアイス 1個 400円
- 販売期間: 9/5(月)~9/10(土)

奈良市餅飯殿町5 ☎ 0742-23-3131
営 11:00~17:00(土曜日~18:00) 休 水・木曜日



お願い

絵馬は、采女神社に奉納できますが、神社には願い事を書いていただくための利用スペースは設けておりませんので、各自事前にご記入の上、ご奉納ください。

お月見豆知識

今は月見といえば十五夜ですが、昔は翌月の十三夜(旧暦9月13日)にもお月見をするのが一般的でした。お供えするのも、団子ではなく、芋や豆・栗。そのため十五夜は「芋名月」、十三夜は「栗名月」「豆名月」とも呼ばれます。

団子をお供えするようになったのは、江戸時代頃から。関東では白い団子をピラミッド型に積み、関西では「月に叢雲」をイメージして、栗型の団子にこし餡を巻くのが一般的です。